

# スイス・サンモリッツ訪問団

## メンバーを募集します



箱根町国際交流協会では、友好都市スイス・サンモリッツへ訪問団を派遣することになりました。ついてはこの訪問団にご参加いただける方を募集します。今回の訪問では、友好都市提携から10年を迎えたサンモリッツと提携10周年記念をお祝いし、サンモリッツの皆さんと交流を深める予定です。また、訪問中はベルン旧市街の観光、パノラマ列車のベルニナエクスプレスへの乗車も予定しております。ご参加お待ちしております。

### 【期 間】

7月9日（火）～14日（日） 6日間

### 【訪 問 先】

スイス・グラウビュンデン州サンモリッツほか

### 【対 象】

箱根町国際交流協会会員または町内に在住・在勤の方で、箱根町国際交流協会に入会いただける方（年会費2,000円）

### 【参 加 費】

約80万円

※燃油サーチャージの変更により料金変動することがあります。

#### （1）経費に含まれるもの

航空運賃（全日程エコノミークラス）、空港使用税、燃油サーチャージ、ホテル、宿泊代（2人1部屋）、食事代、添乗員経費、現地バス代など

#### （2）経費に含まれないもの

1人1室追加料金、超過手荷物料、海外旅行保険代など個人的経費

※費用の一部（通訳代・国内バス代）を当協会で負担します。

### 【申込期限】

3月18日（月）

### 【申込方法】

電話で申し込んでください。

申込・照会先 町国際交流協会事務局（観光課観光係）

電話（85）7410



# せきじゅうじきゅうきゅうほうこうしゅうかい あんない 赤十字救急法講習会のご案内

にっぽんせきじゅうじしゃほこねまちぶんく かいさい  
日本赤十字社箱根町分区が開催します、

きゅうきゅうほうき そこうしゅう きゅうきゅういんようせいこうしゅう さんか  
救急法基礎講習・救急員養成講習に参加してみませんか？

おやこ かぞく ともだち さんか かんげい  
親子、ご家族、お友達での参加も、歓迎いたします！

かいさいび れいわ ねん がつ にち どようび にち どようび にち にちようび  
○開催日：令和6年3月9日（土曜日）・16日（土曜日）・17日（日曜日）

ぜんじつとも ごぜん ごご  
全日共、午前9：30～午後5：00

き そこうしゅう がつ にち きゅうきゅういんようせいこうしゅう ぜんじつさんか ひつよう  
※基礎講習は3月9日のみ、救急員養成講習は全日参加が必要です。

がつ にち すいようび でんわ もうしこ  
（3月6日（水曜日）までに、電話でお申込みください！）

○場 しょ はこねちやうりつきやうどしりやうかん がくしゅうしつ はこねまちゆもと  
所：箱根町立郷土資料館 学習室（箱根町湯本266）

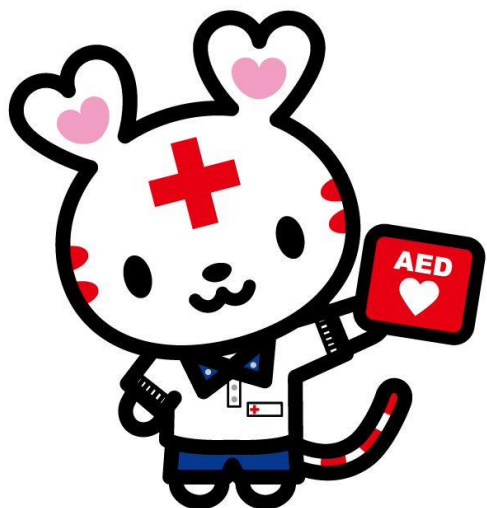
○内 よう きゅうきゅうほうき そこうしゅう てあて きほん いちじきゅうめいしよち  
容：◆救急法基礎講習（手当の基本、一次救命処置）

きゅうきゅうほうき きゅうきゅういんようせいこうしゅう てあて こっせつ てあて はんそうなど  
◆救急法救急員養成講習（きずの手当、骨折の手当、搬送等）

○費 よう きゅうきゅうほうき そこうしゅう えん  
用：◆救急法基礎講習 1,500円、

きゅうきゅうほうき きゅうきゅういんようせいこうしゅう えん  
◆救急法救急員養成講習 1,800円

しょにちうけつけ あつ  
（初日受付で集めさせていただきます。）



と あ もう こ  
お問い合わせ、お申し込みは、

にっぽんせきじゅうじしゃほこねまちぶんく  
日本赤十字社箱根町分区

はこねまちふくしふくし かついきふくし かつかりない  
（箱根町福祉部福祉課地域福祉係内）

TEL 0460-85-7790

令和6年3月より

# みやぎの オレンジカフェ宮城野

を始めます！

住みなれた町でいつまでも元気に暮らすために…

地域で繋がろう！

たくさん話してたくさん笑おう！

福祉・介護の専門職と話してみよう！



日 時：毎月第2木曜日

午後1時30分～3時



申込不要・出入り自由です。

場 所：さくら館2階 旧ファースト

参加費：100円（運営費・飲物・お菓子代等）


運営団体：おつみ会・箱女連宮城野女性会  
（チームオレンジ）

問合せ先：地域包括支援センター（85）3002

 オレンジカフェ<sup>みやぎの</sup>宮城野とは？ 

オレンジカフェ<sup>みやぎの</sup>宮城野は地域の皆さんで集まり、お茶を飲んだり楽しくおしゃべりしたり、自由に過ごしながら新たな出会い、地域のつながりを作っていく場です。どなたでも、出入り自由で参加することができます。

また、カフェには介護・福祉の専門職も参加しますので、自分のこと、家族のことなどを個別に相談することもできます。

 運営団体について 

カフェの運営には「チームオレンジ」であるおつみ会と、箱女連宮城野女性会の皆さんが携わっています。おでかけに不安がある方も気軽に参加してください。

※ チームオレンジは、認知症サポーター養成講座等を受講し、認知症について正しく学んだ方たちで構成された団体のことをいいます。

いつまでも住みなれた町で自分らしく暮らしていくために…。オレンジカフェ<sup>みやぎの</sup>宮城野で楽しい時間を過ごしませんか？お茶とお菓子をご用意してお待ちしています！



令和6年2月7日  
箱根町立湯本幼児学園

◎箱根一貫教育の合言葉  
『箱根を愛し  
かしこく やさしく たくましく』

◎湯本幼児学園個性化目標  
『異年齢保育を生かした園づくり』



鬼は外!福は内!

立春が過ぎ、暦の上ではもう春です。桜の木肌が淡いピンクになり、つぼみも膨らんでいます。2/5は雪が降ったのもつかの間、夕方には雨でなかなか雪遊びが出来ない湯本の子ども達ですが、4.5歳児はもうすぐそり遊びを体験してきます。今年も暖冬と言われていますが、春が来る前に雪遊びをさせてあげたいと思う職員です。

### お正月遊び(1/26)

12月の終わりから遊んできたお正月遊び! けん玉やこまが出来るようになった子ども、初めてのお手玉の技に挑戦する子ども…目標を持ってあきらめずに取り組む子ども達の瞳の輝きにいつも感動させられます。当日は、民生委員さん5名がいらしてくださり、お正月遊びと一緒に遊んだ後、おみやげにウルトラマンの手遊びで楽しませていただきました。また、大きな凧を揚げてくださいました。けん玉やこま回し、大型かるた作り等まだ続いています。ありがとうございます!



### 乗車体験(1/30)

年長組は待ちに待ったはしご車の乗車体験です。「どきどきする〜」「心臓触ってみてよ」とどきどきわくわくが最高潮!安全装具を付け、いざはしご車へ!15mくらいまであげて下さり、子ども達は見える景色に感動!「湯本駅が見えたよ」「小学生が体育やった」「みんなこーんなに小さかったよ」と豆粒くらい見えたことを表現する子ども達!一方、0~4歳児は救急車や消防車を見学し、運転席に乗せて頂いたり、興味津々で器具や装具をみたりしていました。年長にもなるとイメージや知っている情報を組み合わせて、「これってホースに繋げるんじゃない」「ここにもある」と気づきを言葉にします。それが派生して友達も言葉にし、好奇心が深まっていきます。一つ一つの体験を学びにつなぐ!園はそんな毎日です。



### つめた〜い!

いちご・つくし組だよりより

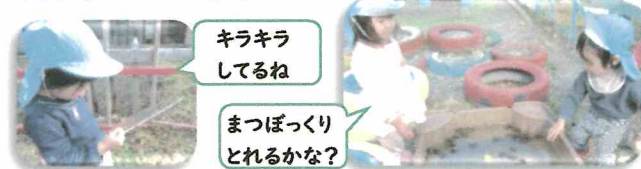
タライに張っている氷を太陽に当てるとキラキラと光が見えます。「きれい」と思う子「(光って) 可愛い」と思う子子ども達の感じる心はいろいろです。感じたことを言葉にしたり、泣いたり笑ったり、小さい体を使って思いっきり表現しています。

氷み〜つけた



キラキラしてるね

まつぼっくりとれるかな?



### 4園5歳児交流(1/25)

箱根町4園の5歳児交流、第3回目(最終回)が湯本幼児学園で行われました。好きな遊びを選んで遊ぶ中で3回目ともなると他の園の友達と名前を呼び合って遊ぶ姿が見られました。小学校に行くと他の園の友達と同じ小学校になったり、学校間交流もあったり、顔見知りの環境が続いていきます。そして、箱根中学校では箱根全山の同級生と一緒に学びます。年長組の5歳児交流はこれから育まれていく友達関係の始まりの交流です。帰りはバスや電車で帰る友達を湯本駅まで送って行きました。今度会えるのはいつかな〜と楽しみにする年長組でした。

### お別れ遠足に向けて

だいすき組だよりより

だいすき組では、遠足の話合いが続いています。行き先選びの中で、「園長先生のパソコンを借りよう」とお願いしに行きました。文字に興味をもつ子ども達は、パソコン入力にも挑戦しました。「ひらつかの〇ひ」と一文字ずつ打ち込みをし、「出てきた!」と歓声が沸きます。「こんな遊ぶところがある」「動物に餌をあげられるね」と調べた後は、話し合いが始まります。色々な話が出た中「みんなが楽しいと思える場所に行きたいね」と、13人で気持ちを1つにして行く場所を真剣に考えています。昨日は電車の時間を調べに再びパソコンへ!子どもが主体的に取り組み、折り合いをつけながら何日もかけて決めていく過程を大切にしたいと思っています。





# 宮城野げんきっこだより1月号

令和6年1月30日発行

箱根教育合言葉

～箱根を愛し・かしこく・やさしく・たくましく～

阿部さんが植えてくれたブロッコリー、とてもかわいい芽が咲きました。いつもみんなが食べているブロッコリーの生長を間近で見られることも貴重な体験です。

辰年がスタートしました。玄関の迫力がある作品をご覧になりましたか？図書コーナーで森として活躍していたカラーポリの葉が辰の体に変身しました。これもエコ活動ですね。発想の転換で、あるものを上手に利用できる園児と職員に感心してしまいました。元旦に大きな地震がありました。子ども達も映像をみて心が震える経験をしたようです。避難訓練をいつも真面目に取り組んでいる子ども達ですが、実際に起こりうることを想定しながら私達も安全に保育が継続できるように考えていきたいと思います。これからは力強く昇り竜(辰)で、日本中に幸せが訪れますように。願わずにはいられません。平穏な毎日を丁寧に過ごしていきたいです。



## お正月遊び

今年も園庭の築山に宮保神社が登場！登園と同時に今年の思いを築山から宣言し、おみくじを引いて楽しみました。その後駒回し、羽根つき、かるた取り、凧揚げ、書初め。いつの時代も子ども達は夢中になる遊びです。どうしたら駒は回るようになるのかと憧れの眼差しで駒回し名人（長篠先生がすごい！）の技を見て、日々努力する子も現れました。つくづく子どもの取り巻く環境は大切だと感じました。友だちがこだわって頑張っている姿を見ると、自分も！と触発され互いに影響し合っています。そして1/25日には、地域にお住まいの勝俣さんが来園され、年長児を中心に習字を教えてくださいました。礼に始まり礼で終わることを基本として、墨汁と筆と半紙に向き合い、文字を書きました。いつもとは違う雰囲気を感じた年長児は短い時間ですが集中して習字を楽しみました。



## 箱根駅伝ならぬ、宮保駅伝、宮保マラソンスタート！！

1月17日箱根の森小学校の校庭をお借りして、広いグラウンドを走ってきました。自分の目標を決めて走る子や友達や先生と一緒に走ることを気持ちよく感じている子、ただ広い校庭に圧倒され、一周して満足する子など色々な感じ方をしており、各々の成長を感じました。準備体操をしていると5年担任の加藤先生が仲間入りして一緒に走ってくださったり、一年生と岩永先生が整列して応援してくれていたと思ったら、一緒に走ってほしいと、サプライズがあってとても素敵な時間を過ごすことができました。そして、23日が本番。園舎の周りをぐるっと一周する宮保マラソンが開催されました。いつもは入らない園舎の裏や、駐車場の門を開けて、駐車場もマラソンコースになりました。事前に安全に走れるかのコースチェックを年長児としたり、テレビでみた給水所を作ったり走った回数かを体に貼ってもらって数が増えていくのを楽しみました。最高記録は、年長児の27周でした！こんなに走れるとはと先生たちもびっくりでした。子どもの底力を見させてもらえました。



## もうすぐ豆まき

さあ、今年の鬼は？どんな鬼が登場するのでしょうか？年長児はこれまでの経験から節分の楽しみ方を知っています。年長児として、園のリーダーとして、年下の子どもとどうやって節分を楽しんでいくのかを話し合い、ただいま準備中です。「怖い鬼は絶対に必要だね」「優しい鬼もいないと、小さい子は泣いちゃうからかわいそうだよ」みんなの心の中に住んでいる鬼をどう演じてくれるのか、とても楽しみです。そして自分達で考え、イメージを形にしていく過程がとても大事で、どうやったら相手に伝わるのか、やってみてどうすれば良かったのかなど、主体的に行事を進めることで、学びを深くしていきます。2月2日にお面やマスを持ち帰ります。ご家庭でも是非楽しんでください。





# 学校だより

箱根町立箱根中学校

令和6年1月30日発行

第4号

発行者 多田 滋



箱根教育の合言葉「箱根を愛し かしこく やさしく たくましく」

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

令和6年の干支は、甲辰（きのえたつ）、60年前の昭和39年には、アジア初の東京オリンピックが開催され、東海道新幹線が開業するなど、日本が大きく成長しました。箱根神社によると、今年「躍動・発展の年」で、「努力を重ねて成果を得る」ことが大切だそうです。今年「面倒くさい」を封印して、コツコツと「地道な努力」を重ね、大きく成長する年にしていきたいと思います。

## 思い合いの心

昨日青森山田高校の優勝で幕を閉じた全国高校サッカー選手権大会でのあるエピソードを紹介します。1月2日に石川県代表の星陵高校と千葉県代表の市立船橋高校との3回戦が行われましたが、元日の能登半島地震の影響で星陵高校の地元の応援団が来ることができませんでした。そのことを知った既に敗退していた神奈川県代表の日大藤沢高校が急速応援に駆けつけたのです。星陵高校のユニフォームが黄色なので、日大藤沢監督の住んでいる茅ヶ崎市の黄色いゴミ袋を加工して着ることにしたそうです。対戦相手の市立船橋高校は試合開始前の撮影時に「力を合わせて乗り越えよう」とメッセージを掲げました。応援用のメガホンも星陵高校のために貸し出しました。試合は1対4で負けてしまいましたが、会場は星陵高校への惜しみない拍手に包まれたそうです。SNS上にはこのことに関する投稿が多数見られ、多くの人々が感動したことがわかります。

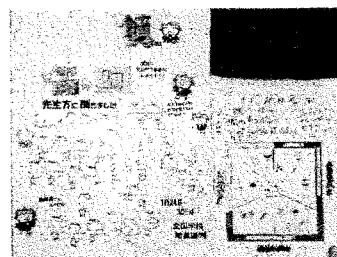
今日このエピソードをみなさんに紹介したのは、感動的ないい話を伝えたいからではありません。

困っている人がいたら助けたい、他人のために何かしたい、といった感覚が当たり前についている人間に成長してほしいと願っているからです。今回のエピソードのポイントは、高校生発信だということです。自分たちにできることはないか、何かしたい、と顧問の先生に相談したところから始まったそうです。日大藤沢の応援団長や市立船橋のキャプテンは、思うだけでなく、それを発信するまでに成長していたということです。そして周りのメンバーも、その思いに共感できる集団であったということです。まさに「思いやり」を超えた「思い合い」の心を感じます。みなさんの成長を期待します。～3学期始業式 校長の話より（抜粋）～

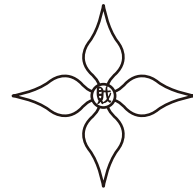
## 給食今昔物語

校内の給食コーナーに先生方の思い出の給食が掲示されています。出身地や年代で様々ですが、カニ（1人1杯）、但馬牛ステーキ、芋煮など地方ならではのレアなメニューに驚きます。ソフト麺も人気のようです。「アラ還世代？」のNo.1は、やはり鯨の竜田揚げです。私も小学生の頃に食べたことを今でも鮮明に覚えています。その鯨の竜田揚げが今回箱根中の給食に復活することになりました。ほぼ半世紀ぶりに食べましたが、あの頃が思い出される懐かしい味だった気がしました。

みんな大好きキムタクご飯もいつの日か思い出の給食になるのでしょうか。



# 財団だより



第152号

令和6年2月号 (2024年)

発行  
公益財団法人 箱根町文化・スポーツ財団  
箱根町小涌谷520番地  
☎0460 (87) 5222(直通)  
印刷所 (株)ホクト印刷  
☎0465 (85) 0150

〈財団のシンボルマーク〉  
箱根町の推奨木「ヤマボウシ」の図案化  
住民等が財団を基盤に連携、調和、発展する姿を象徴する。



【第2回】  
9月13日(水)に葛飾区柴又帝釈天と寅さん記念館、江東区夢の島熱帯植物園と第五福竜丸展示館を訪ねる会を実施したところ30名の参加がありました。柴又では、懐かしいフーテンの寅さん映画の世界に触れ、参道の団子屋で舌づつみを打ちました。夢の島では、第五福竜丸被爆当時の経緯等の説明を聞く機会を得て、改めて核兵器の脅威に震え、世界平和の必要性を痛感しました。



【第3回】  
11月15日(水)に川崎市川崎大師平間寺と江東区日本科学未来館を訪ねる会を実施したところ19名の参加がありました。川崎大師平間寺では、七五三参りの稚児に目を細め、微笑ましい中での参観ができました。日本科学未来館では、全天候を覆うスクリーンに壮大な映像を映すドームシアターガイアや、様々な科学技術の進化を体感することができました。

10月18日(水)に山梨県笛吹市甲斐の国一之宮浅間神社と甲府市甲斐善光寺を訪ねる会を実施したところ28名の参加がありました。甲斐善光寺では甲府市観光協会ボランティアガイドの丁寧でわかりやすい案内に感銘を受け、戦国大名武田家由来の善光寺如来像などを見学することができました。



## 町外の文化施設を訪ねる会

## 財団 主催事業



箱根町文化・スポーツ財団では、年間を通して様々な事業を行っています。今年度も残り僅かとなりましたが、ここに、今年度の実施事業の一部を紹介します。これらの事業の実施にあつては、町回覧「まちだより」でその都度、お知らせをいたしますので機会がありましたら、ぜひご参加ください。

## 町外の古刹・名刹を訪ねる会



## ヒーリング・ヨーガ教室

心と身体の健康維持・増進のため、6月9日から毎金曜日の5週と、9月29日から毎金曜日の5週に亘り、社会教育センター軽スポーツ室で、ヒーリング・ヨーガ教室を開催したところ、それぞれ延べ49名と62名の方々の参加がありました。

参加者の皆さまは、無理のないペースで呼吸と身体の一体感を感じ心地よい汗を流し、自分と向き合う大切な時間を過ごしました。



## 初心者のための筆ペン講座



12月7日(木)に「生活文化講座」として「初めての筆ペン講座」を開催したところ6名の参加がありました。

参加者の方々は、講師が一人ひとりにきめ細かく教えていただき、講師作成の豊富なお手本を参考に来年春年賀状に備え、来年も良い年になるよう、一筆に願いを込めて筆を進めていました。

## ぶらぶら歩く会

6月15日(木)に芦之湯周辺を、11月9日(木)に湖尻周辺をそれぞれ、ぶらぶら歩く会を実施したところ13名と7名の方々の参加がありました。芦之湯では、曾我兄弟の墓や六道地藏などを、湖尻では、湖尻水門や深良水門などを、それぞれ見学しながら散策し、地域の歴史・自然と触れ合うことができました。



## 善意のご寄付

文化・スポーツ財団の円滑な事業を進めるために、お寄せくださいました善意のご厚志に心から厚くお礼申し上げます。

(5年8月25日から6年2月1日まで受付分) (敬称略)

### 令和5年度 賛助会員ご芳名

#### 〈個人会員〉

伊東フミヲ・福住 和代  
 神野 文子・柳澤 昌子  
 柳澤 雅敬・岩田マサ子  
 田中由美子・田中 篤樹  
 川又 清輝・鈴木 秀幸  
 水上 朋子・松村 良雄  
 石橋 誠子・後藤喜美夫  
 鈴木 健夫・原口 裕  
 徳田 典久・徳田 浩子  
 大場 脩一・波田野憲子  
 山田 正・淡島 滋  
 伊藤 大起・伊藤 友彦  
 内田よう子・萩野たまき

#### 〈企業・団体会員〉

箱根ライオンズクラブ

# ファミリー写真コンクール

第7回



第7回となるファミリー写真コンクールを実施し、18点の応募をいただきました。

応募作品の審査は、元神奈川新聞社映像副部長の山田信次さんを審査委員長に迎え、当財団の理事が審査員となり厳正な審査を行い、応募作品の中から特選2点、入選3点、特別賞2点を選出しました。

山田審査委員長からは、「応募作品は昨年と同様の18点があり、まずまずだと思います。そんな中で「第7回ファミリー写真コンクール」には子供たちと水遊びを楽しむ作品や、2歳の子どもが犬を抱く微笑ましい作品があり嬉しく思いました。今回は、マス

クをした作品も少なくなり、笑顔に満ちたファミリーの作品が多く見られ、力作が揃っていました。今年は犬が参加してくれましたが、これに加えペットの猫や小鳥などの参加があれば、より楽しい作品ができるのではないのでしょうか。

写真は表現力と記録性の双方の力を備えています。いつでも見たいときに見られ、その時代背景をよみがえらせてくれるのも写真です。カメラはもとより、誰もがスマホを持つ時代です。家族の皆さんで楽しい写真に挑戦してはいかがですか。」

と総評をいただきました。本コンクールは今後も毎年実施予定ですので、多くの方々の参加をお待ちしております。



## 特選

### いっぱい穫れたー!! 勝俣 幸子さん



#### 審査委員長選評

ピーマン、ナス、トマトなど夏野菜がカゴいっぱいに盛られ、指でピースを出し、収穫を喜ぶ女の子の笑顔がなんとも可愛らしい。首に巻くタオルはお手伝いをした証か。



#### 作者からからのメッセージ

暑い中、ガンバっていっぱい穫ったね。また来年も、もっと穫れたらいいね。



## 特選

### 今年の夏もありがとう

青山 朋史さん



#### 審査委員長選評

メッセージには「4年ぶりの海に大興奮、姉妹仲良く泳いだり、貝を拾ったり、思い出が沢山できたね。」とある。ブルー一色の画面の中に白い入道雲が夏を思い起こさせる。浅瀬で姉妹が貝を拾っているのか、大自然の中の行いが、おおらかで安らぎを感じさせる作品だ。



#### 作者からからのメッセージ

4年ぶりの海に大興奮、姉妹仲良く泳いだり、貝を拾ったり、思い出が沢山できたね。



## 入選

- 「お〜ととと」 吉澤ゆりかさん
- 「我が家へようこそ」 望月 知世さん
- 「おいしい夏の味」 青山 ふみさん

## 特別賞

- 「ふたりでみずあそび」 勝俣 有紀さん
- 「だいすき」 原 周子さん

## 令和6年度賛助会員の受付は4月から

公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団は、住民の自主的な文化・スポーツ活動を支援、育成し、豊かな住みよい町づくりに寄与することを目的に設立されました。その活動の財源は、当財団の基本財産から得られる預金利子等を中心に、町補助金と賛助会員の会費をもって運営しております。

つきましては、当財団の趣旨をお汲み取りいただき、社会貢献活動の一つとして、多くの方が賛助会員にご加入していただきたく、切にお願いいたします。

賛助会員の会員資格は、毎年、加入の日から翌年の3月末までとなります。

新年度は、4月から受付をいたします。

### \*賛助会員年会費

#### ・個人会員

1口 2,000円（何口でも可）

#### ・企業・団体会員

1口 10,000円（何口でも可）

### \*賛助会員特典

1. 年3回発行の財団だよりの配布
2. 主催事業等参加費の割引
3. 箱根町宮城野・仙石原テニスコート  
使用料割引

### ▼取扱金融機関

・郵便振替 口座番号/00260-0-61251 口座名義/公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団

・さがみ信用金庫湯本支店

口座番号/普通口座0078972

口座名義/公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団 理事長阿部佳信

\*振込用紙をお送りいたしますので、ご連絡ください。 \*恐れ入りますが手数料をご負担ください。

### ▼直接、窓口にお越しいただく場合

箱根町小涌谷520-20 社会教育センター内 公益財団法人 箱根町文化・スポーツ財団

Tel・Fax：0460-87-5222

## 補助事業のお知らせ

公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団では、箱根町の文化・スポーツの振興を目的とする各種事業（活動）を行う団体等に対し、活動助成や運営支援のための補助金の交付を予定しています。令和6年度において、これらの事業（活動）を行う団体で、補助金の交付を希望される場合は、所定の用紙に必要事項を記載して申請してください。

申請書を提出していただいた後、審査を行い、承認した団体に対し、補助金を交付します。

なお、審査内容については非公開といたしますが、審査結果については代表者に通知します。

## お知らせ

社会教育センター1階ギャラリーにおいて、箱根写真美術館館長・遠藤桂氏の作品と、箱根在住の書道家・峰尾琴桜みねおきんおう氏の作品を展示しています。お近くにお越しの際は、是非ご覧ください。



## ご案内・お問い合わせ

公益財団法人 箱根町文化・スポーツ財団の事務所は、箱根町社会教育センター1階です。業務時間は、土・日・月・祝日及び祝日の翌日を除く平日の午前8時30分から午後5時までとなります。

TEL・FAX 87-5222 Email: bunsupo520@gmail.com